

令和4年第7回久米島町議会定例会一般質問

令和4年9月7日～9月9日・9月29日

令和4年第7回9月定例会一般質問通告一覧表

質問順	質問者	質問事項	質問日程
1	翁長 学	1.ウミガメの保護について	令和4年9月7日(水)
		2.畜産の振興について	
2	幸地 猛	1. 専門職員の確保について	令和4年9月7日(水)
		2. 道路行政について	
		3. 新たな観光地の整備について	
3	盛本 實	1. 公共施設の意義について	令和4年9月7日(水)
		2. DMOについて	
		3.包括連携協定の活用について	
		4. 町道の整備について	
4	真栄平 建正	1. 町防災計画について	令和4年9月7日(水)
		2. 農業振興について	
		3.健康増進施策について	

令和4年第7回9月定例会一般質問通告一覧表

質問順	質問者	質問事項	質問日程
5	東江 浩明	1. 耕作地等、供給設備事業の現状確認と今後への取組について	令和4年9月8日(木)
		2. 海岸漂着ゴミの対応対策、現状と今後の取組について	
6	富永 肇	1. 学校教育について	令和4年9月8日(木)
		2. 久米島高校魅力化について	
7	新垣 幸子	1. ウミガメと漁業の共存について	令和4年9月8日(木)
		2. 新型コロナウイルス感染症対策について	
		3. ひとり親家庭等生活支援事業について	
		4. 離島及び広域相談体制整備事業について	
8	赤嶺 秀徳	1. 松くい虫について	令和4年9月8日(木)
		2. 危機管理について	
		3. 道路整備について	

令和4年第7回9月定例会一般質問通告一覧表

質問順	質問者	質問事項	質問日程
9	宇江原総清	1.鳥島射爆撃場と政治について 2.自然再生とアオウミガメ問題について 3.バーデハウスの対応について	令和4年9月9日(金)
10	棚原 哲也	1.海洋深層水について 2.県道イーフ線及び県道132号線(ビーチ通り)の現況について	令和4年9月9日(金)
11	喜久里 猛	1. 松くい虫について(三役、全島を視察したことを前提) 2.町内の森林のカヅラについて	令和4年9月29日(木)

令和4年9月 議会 一般質問

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
12	翁長 学	1.ウミガメの保護について	<p>本町の海岸において、ウミガメが瀕死の状態で発見された。漁師によるとカメの異常繁殖という。町としてはどう対処するか。</p> <p>(1)発見された当日の対処は</p> <p>(2)町として今後の対処は</p> <p>(3)ウミガメ館の保護活動は</p>	町長	<p>(1)7月14日午後3時ごろ、現場付近の事業者から「ウミガメが5, 6頭打ち上げられている」旨、ウミガメ館へ通報があり、ウミガメ館職員が現場を確認したところ、相当数のウミガメが打ち上げられているのが確認されました。午後4時ごろ商工観光課にも連絡が入り、職員1名を派遣して、状況確認を行うとともに、ウミガメの救助を行いました。満ち潮に向かう時間帯であること、ウミガメが広範囲に点在していることから、全てのウミガメに対処することは困難であると判断し、その日は、午後6時頃、作業を終え引き上げました。</p> <p>翌日、商工観光課、ウミガメ館職員、産業振興課にて現場確認を行いました。ウミガメは確認されませんでした。</p> <p>(2)7月22日に沖縄県農林水産部長へ経緯と再発防止案について説明したところで、今後は、久米島漁協と意見交換を行いながら対策協議会において、再発防止と信頼回復に向け努めてまいります。</p> <p>(3)ウミガメ館では、ウミガメの生態展示のほか、ウミガメの産卵場所の保全を目的に、海洋漂着ごみの回収や産卵場所への看板設置、弱って漂着したウミガメの保護、保養を行っています。</p>	<p>(1), (3)商工観光課</p> <p>(2)産業振興課</p>

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
		2.畜産の振興について	<p>(1)10月に第12回全国和牛能力共進会が行われる(鹿児島大会)。本町は今回予選にも出品できなかった。次回大会に向けて和牛改良組合、本町も取り組む必要があると思う。そこで、鹿児島大会に視察研修の計画はないか。</p> <p>(2)牛舎周辺の道路整備について(比屋定地内)</p>	町長	<p>(1)第12回全国和牛能力共進会については、本町での候補として1頭出品予定でしたが、候補牛として選ばれなかったことは、残念に思います。次回大会への取組としては、出品者への出場意欲を高めるためにも視察を行うことは、担い手育成にも繋がるため関係団体と調整しながら計画したいと考えております。</p> <p>(2)農道整備については、新規採択が厳しい状況であると以前の議会においてもお答えしているところですが、牛舎周辺の農道を現場確認したところ通行に支障がある箇所もあることから農家の負担軽減のため、部分的にはなりますが修繕対応ができないか検討したいと思います。</p>	<p>(1)産業振興課</p> <p>(2)建設課</p>

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
13	幸地 猛	1. 専門職員の確保について	<p>保健師、保育士、消防職員、専門職員、技術系職員などの確保について、厳しい状況にあると聞いている。解決に向けて取り組んでいくと思いますが、具体的にどう取り組んでいく考えなのか伺います。</p> <p>(1) まず、現状について伺います。 (2) 具体的な取り組みについて伺います。</p>	町長	<p>(1) 専門職員の確保につきましては、保健師の受験申込がないなど、今年度も厳しい状況にあります。</p> <p>(2) 保育士につきましては、関係団体へ採用試験の周知依頼をしております。また、全職種において受験資格年齢の引き上げを行い、人材確保に努めております。</p>	総務課
		2. 道路行政について	<p>(1) 町道整備について 町内には整備すべき道路が多数ある。緊急度、重要度をもとに優先順位を整理して道路整備を進める必要があると思います。そのためには、久米島町道路整備計画を策定して進める必要があると思いますが、その考えについて伺います。</p> <p>(2) 農道整備計画についてはどうなっているか伺います。</p>	町長	<p>(1) 町道整備については、現在町道比嘉2号線と大原ビーチ線を整備しておりますが、新規採択の条件整備として町全体の整備計画を策定し効果的な整備を図っていく必要があるかと思えます。</p> <p>(2) 平成30年度に町全体計画として農業農村整備事業計画を策定し、その計画を基に事業執行にあっております。</p>	建設課

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
		3. 新たな観光地の整備について	<p>イーブビーチから奥武島、オーハ島、ハテの浜まで関連する地域を、バーデハウス再生プロジェクトと関連させて、魅力ある景観の整備計画を策定し、島の観光振興に繋げていく考えはないか伺います。</p> <p>(1) 泊フッシャリーナ横の空き地(残土置き場)の整備について。</p> <p>(2) オーハ島の開発について。</p>	町長	<p>(1) 泊フッシャリーナ横の用地については、県管理の仲里漁港泊地区漁港環境用地となっております。具体的な整備計画は今のところないようです。</p> <p>(2) 第2次久米島町国土利用計画におきましては、オーハ島は周辺住宅エリアと自然等保全エリアとし位置づけられており、現時点で開発の予定はありません。</p>	<p>(1) 建設課</p> <p>(2) 企画財政課</p>
2	盛本 實	1. 公共施設の意義について	<p>本町においては、公共施設が町民及び外来者などから、無用の長物ではないかと言われている施設がいくつかある。その代表的なものが、具志川漁港であり隣接する陸上防波堤、そして奥武島の階段式護岸等々がある。その施設が町として、整備効果や必要性について検証した事があるか。今後、負の遺産として後世に残すことになるのではないかと懸念している。その施設等の意義について町長の考えを伺います。</p>	町長	<p>具志川漁港については、夏場の限られた期間ですが利用されており防波堤についても漁港施設として重要な役割を果たしていると考えております。また、奥武島の階段式護岸については、災害復旧事業で背後地の保全を目的に整備されております。それぞれ必要に応じ整備されていると承知しておりますが、事業経過とともに利用形態の変動に応じた対応も必要であると考えております。</p>	建設課

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
		2. DMOについて	<p>改めて次の件について伺います。DMO推進協議会については、町としてこれまで多くの予算を投入してきたと思われるが、その事業の内容及び効果が良く理解できない。次の項目について説明していただきたい。</p> <p>(1) DMOの目的は？</p> <p>(2) 事業の計画年度は？</p> <p>(3) これまでの補助額は？</p> <p>(4) これまでの成果は？</p> <p>(5) 今後の方針について？</p>	町長	<p>(1) くめじまDMOは、本町における観光・物産事業を振興し、地域経済の発展及び地域文化の向上に寄与し、併せて公益に資することを目的に設立されており、経済5団体が連携して取り組んでいます。</p> <p>(2) DMOの設立は、第2次久米島町観光振興基本計画において「観光振興の実現に向けた体制づくり」の具体的な取り組みとして位置付けられたことを踏まえ、平成29年度から設立に向けた検討を開始し、その後、2年間、経済5団体をはじめとする関係機関との意見交換や勉強会を重ねて、令和2年2月に候補法人として登録、同年5月に一般社団法人として設立しました。今年度は候補法人登録から3年目にあたる最終年度となっており、登録法人化に向けて取り組んでいるところです。今後も引き続き、設置目的が達成できるよう、事務局運営の安定化に向け支援してまいります。</p> <p>(3) 令和2年度のDMO設立に伴う運営補助を目的に令和2年度に9,483,124円、令和3年度に9,800,000円、令和4年度に9,800,000円を補助しています。</p> <p>(4) DMO設立の成果については短期的な視点では経済5団体間の連携促進が図られたものと考えております。</p> <p>令和2年度の設立以降、主要施策のKPI作成や訪問者の満足度調査のほか、一括交付金を活用した誘客事業や観光庁の海外</p>	商工観光課

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
					<p>プロモーション事業を受託し取り組んでおります。令和4年度は久米島観光ブランディング事業として久米島ならではの「食」の開発に向けて飲食事業者と連携して取り組んでおります。</p> <p>(5) 今後も引き続き、経済5団体が連携し、持続可能な観光地経営が推進されるよう、町としても支援してまいります。</p>	

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
		3.包括連携協定の活用について	<p>本町として複数の団体と包括連携協定を締結していると思うがその活用について、次の項目について説明を求めます。</p> <p>(1) 包括連携協定の目的は？ (2) 協定団体数について？ (3) 目的達成のために現在どのような事を行っているのか？ (4) その効果は？ (5) 今後の方針について？</p>	町長	<p>(1) 近年、民間企業等の社会的責任の一環として社会貢献活動に関心を持つ企業が増えており、民間企業等と行政とが連携協定を締結し、協力してまちづくりを進めていく動きが広まっております。このような中、多様化、複雑化した町民ニーズに応え、町民サービスの向上、暮らしやすい地域づくりを行っていくことを連携協定の目的としております。</p> <p>(2) 連携協定を締結している団体数は7団体となっております。</p> <p>(3) 各団体との協定内容が異なるため、一様に説明はできませんが、民間企業等有する資源と本町が持つ情報やネットワーク、人的資源を結び付け、お互いの強みを生かしながら、協働によるまちづくりを進めていくことを目指しております。</p> <p>(4) 行政だけでは困難な課題に対して民間企業等有するアイデアやノウハウが地域や経済の活性化、公共サービスの充実につながることを期待できます。</p> <p>(5) 本町と事業者等が連携して地域の課題解決及び町民サービスの向上を図る協働の取り組みを推進し、持続的に発展できるまちづくりの実現に向けて取り組んでまいります。</p>	企画財政課

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
		4. 町道の整備について	<p>基幹的な町道の一部において未整備の箇所があり、道路機能として十分に発揮されていないのが現状である。 今後どのような手法で整備を図ろうとしているのか伺います。</p> <p>次の路線です。</p> <p>(1) 具志川城跡線 (2) 飛行場城跡線 (3) 鳥島清水線</p>	町長	<p>(1) 具志川城跡線については、未買収用地があり一部未整備がございます。その用地購入が解決することができれば工事着手し道路接続を完了したいと考えております。</p> <p>(2) 飛行場城跡線については、未買収用地が1件ありこれまでも地権者との交渉を行っておりますが、契約締結までは至っておりません。コロナ渦の影響もありここ2年程交渉はできておりませんので、引き続き交渉を行い用地買収後整備していきたいと考えております。</p> <p>(3) 鳥島清水線については、大原下線を整備したこと、また現在大原ビーチ線を整備中ですので必要性も含め検討していきたいと考えております。</p>	建設課

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
10	真栄平建正	1. 町防災計画について	<p>沖縄近海の地震の多発等防災の重要性がさらに高まっており、また行政危機管理は自然災害、コロナ、その他新たな危機に対応する専門性が重要になっている。</p> <p>(1) 所管課と担当者の配置基本方針(職階、防災関連業務経験年数、研修、その他)、避難訓練への参加者状況を伺う</p> <p>(2) 真泊地区の避難施設整備の整備時期、事業費を伺う。また避難経路と避難場所の変更の有無、変更の理由、変更の地域説明状況、避難訓練への参加者状況を伺う</p> <p>(3) FM久米島の難聴地域箇所とその対策について伺う</p>	町長	<p>(1) 危機管理につきましては、総務課が所管し、担当は班長を当て各種団体との情報共有や専門知識取得のための研修受講に努めております。昨年度の避難訓練参加者は1,700名となっております。</p> <p>(2) 真泊地区避難階段は平成25年度に着手し平成27年度に完成しており、事業費は約3千万となっております。平成31年3月に土砂災害特別警戒区域の指定を受けていることから、避難場所としての検討が必要となっております。避難階段への訓練参加者は26名となっております。</p> <p>(3) FM放送の難聴地域は宇江城及び島尻周辺が主な地域となっており、対策としては、インターネットに接続されたパソコン又はスマートフォンから聴くことができ、インターネット環境の無い方には防災行政無線及び民放テレビのデータ放送を通じて情報を発信してまいります。</p>	<p>(1), (2) 総務課</p> <p>(3) 企画財政課</p>

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
		2. 農業振興について	<p>久米島農業の基幹であるサトウキビを守り、農家の所得を上げるには生産コストの削減しかない。化学肥料の高騰により農家はさらに厳しい状況になっている。国の肥料高騰に伴う支援策を着実に取り込み、あわせて生産経費削減策に強力に取り組む必要がある。</p> <p>(1) 肥料価格高騰による国の支援策概要を伺う (2) 国の支援条件とする化学肥料の削減取組に対する、町の具体的対応策を伺う (3) サトウキビ生産に係る経費の内訳とそれぞれの割合を伺う</p>	町長	<p>(1) 肥料価格の高騰による農業経営への影響緩和のため、化学肥料の低減に向けて取り組む農業者へ令和4年6月から令和5年5月までに購入した肥料費を国が定める方式で算定し、その7割を支援金として交付されます。</p> <p>(2) 化学肥料低減に向けた取組に対して、町としては、堆肥や緑肥の補助をすでに行っており、今後においても活用を推進したいと考えております。</p> <p>(3) 農林水産省が調査した農産物生産費統計によりますと、令和2年産さとうきび生産費の内訳と割合については、10a当たりに対し ① 賃借料及び料金に32,922円 (25.8%) ② 肥料費14,311円 (11.2%) ③ 農機具費13,573円 (10.7%) ④ 農業薬剤費7,697円 (6.0%) ⑤ 労働費42,546 (33.4%) ⑥ その他16,318円 (12.9%) となっております。</p>	産業振興課

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
		3・健康増進施策について	<p>高齢者の免許返納等により移動手段の確保が必要となっている。お年寄り、地域住民の健康増進のために必要である。</p> <p>(1) ホテルドームバス停の設置について (2) 仲里総合グラウンドの再整備について</p>	町長	<p>(1) 町営バスのバス停につきまして、特にホテルドームから空港までの区間につきましては導線の見直しをする予定がありますので、免許返納者等への利便性の向上の観点を踏まえ、バス停設置に向けて検討いたします。</p> <p>(2) 仲里総合グラウンドの再整備につきましては現在のところ計画等はありません。しかし、継続して施設を利用している町民もいることから、町民の健康増進には必要な施設ではありますが、経年劣化等による施設の老朽化が著しい為、今後の再整備につきましては、キャンプ誘致、大会誘致等も含め、横断的に協議、検討してまいります。</p>	<p>(1) 商工観光課 (2) 環境保全課</p>
11	東江 浩明	1. 耕作地等、供給設備事業の現状確認と今後への取組について	<p>(1) 本町内各農地へ給水配管整備状況について伺う。</p> <p>(2) 土地改良区、業務対応対策について伺う。</p>	町長	<p>(1) 農地への給水配管整備状況については、かんがい施設整備状況として令和2年度実績で45.4%となっております。</p> <p>(2) 土地改良区の業務に関しては、賦課金の徴収・既存の圃場への給水管管理等を実施しております。また、緊急時の対応など農家への負担にならないよう町としても指導助言を行いながら土地改良区の運営基盤の強化を図ってまいります。</p>	<p>(1) 建設課 (2) 産業振興課</p>

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
		2.海岸漂着ゴミの対応対策、現状と今後の取組について	<p>(1)漂着ゴミの回収対策事業内容について伺う。</p> <p>(2)回収後の対応事業内容について伺う。</p>	町長	<p>(1)本町では県補助金を活用し、民間団体、地域住民等の協力を得て、海岸漂着物の発生原因に係る調査検討や発生抑制対策に係る環境教育及び普及啓発事業を町内の小学生に実施しております。</p> <p>(2)漂着ゴミの回収後の対応事業につきましては、令和2年度事業において導入された小型焼却炉にて焼却処理を行っております。</p>	環境保全課

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
3	富永 肇	1. 学校教育について	<p>(1) 本町の教育理念、一人ひとりの「確かな学力」の向上「生きる力」を育む教育として、知・徳・体の調和の取れた教育に取り組むとありますが、教育理念を数値化し、検証したことはあるか伺います。</p> <p>(2) GIGAスクール構想の現状について。 新型コロナウイルスが蔓延している現状を踏まえ、人流の多い夏休み明けは感染状況の悪化が予想されるが、GIGAスクールを稼働した際の課題等はあるか伺います。</p> <p>(3) 連携型中高一貫教育校の取り組みについて。 本町では義務教育の中学校と県立である久米島高校の連携型中高一貫教育校の取り組みを進めていると思いますが、具体的な内容を伺います。</p> <p>(4) 本町、中学校の部活動外部コーチ及び指導者について。 本町の2中学校に何名の部活動外部指導員がいるか伺います。</p> <p>(5) 教職員の業務負担軽減について。 前町長が掲げていました教職員の業務負担軽減について、桃原町長も同様に教職員の業務負担減について取り組んでいく方針か伺います。</p>	教育長	<p>(1) 教育委員会においては、久米島町学力向上推進において、達成目標を掲げ、教育理念を数値化しております。「知」として全国学力学習状況調査や県到達度調査等における全国や県との比較による検証。「徳」として全国学力学習状況調査や沖縄県児童生徒質問紙における全国と県との比較による検証。「体」として全国体力運動能力、運動習慣調査において全国との比較による検証を毎年行っております。</p> <p>(2) 1人1台端末・ネット環境整備は完了し、授業での端末の利活用頻度は高まってきておりますが、運用面での支援の更なる強化と、端末の持ち帰りが課題と言えます。</p> <p>(3) 久米島町地域連携型中高一貫教育の狙いは、6年間の計画的、継続的な指導体制を活かし、自ら学び、自ら考える、人間性豊かな生徒の育成を目指し、全体的な学力向上に向けて各教科で連携を図り、6年間のゆとりある学習環境の中で確かな学力の定着と、久米島の自然や文化を学び、幅広い教養や郷土愛を育てることです。 具体的には、教職員の授業力向上のための「教科会」、連携入試に向けて話し合う「入試進路学習委員会」、生徒の望まし</p>	教育課

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
					<p>い生活習慣の確立に向けての「生徒指導委員会」、中高合同で地域行事の企画運営を行う「連携行事委員会」、特別支援教育に関する情報交換を行う「特別支援教育委員会」を設置し、取り組んでおります。</p> <p>(4)2中学校に13の部活動があり、その内8つの部活動に12名の外部指導員がいます。</p> <p>(5)学校の担う役割は多様化・複雑化し、教職員の負担は増加しています。教職員が本来の業務に集中できる時間や児童生徒と向き合う十分な時間の確保に努めていけるよう、今後も「久米島町教職員働き方改革推進計画」に基づき取り組んでまいります。</p>	

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
		2. 久米島高校魅力化について	久米島高校の園芸科は未だ「沖縄県立高等学校編成整備計画」において定員募集停止を見送られている状況にあり、離島留学制度を導入している現状でも定員に達していない。園芸科の存続問題は、いずれ県から示されるものと考えます。久米島高校魅力化事業の現状の活動内容と今後の取り組み方針を伺います。	町長	<p>本町では平成25年度より久米島高校魅力化に取り組んでおります。これまでの主な取り組みとしましては、「ハワイ留学」「まちづくりプロジェクト」「離島留学制度」「公営塾（久米島学習センター）」並びに中学学習支援員による放課後自主学習の場所の運営として「まなびや」の取り組みを行っています。</p> <p>今後も魅力ある高校を目指して、関係者等と連携し、町の現状や生徒のニーズに合わせた取り組みを検討してまいります。</p>	企画財政課

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
7	新垣 幸子	1.ウミガメと漁業の共存について	<p>「ウミガメ死骸30匹超」の見出しで7月16日の琉球新報に掲載があった。以下、7点について伺う。</p> <p>(1) 以前から網が破られる被害があった。また、ウミガメがアマモなどの海草を食べることで「海が砂漠」になっている影響で砂が動き、サンゴに覆いかぶさったり、砂が堆積した浅瀬で漁船が航行できない被害がでている。町はこれまで、このような状況に対しどのような対策をとってきたか伺う。</p> <p>(2) 今回、沖縄県に現状の報告と今後の取組について報告していますが、その内容について伺う。あわせて、沖縄県の考え方や対応方針について、どのような見解だったか伺う。</p> <p>(3) 関係者団体との共通認識をもって、今後のことについて意見交換を行ったと思うが、その具体的内容について伺う。</p> <p>(4) 町長の謝罪のコメントの中に「ウミガメの専門家や国・県等の関係機関の指導助言を受ける」とありますが、特に専門家の方から、どのような指導助言があったか伺う。</p> <p>(5) 漁の網の損害補償保険はあるか伺う。</p> <p>(6) 今回のようにウミガメが大量に発生し、漁</p>	町長	<p>(1) 久米島漁協から被害等の報告を特に受けておらず対策を取っておりませんでした。事件後において漁協から聞き取り調査を行ったところ同様の被害があると報告を受け、今後は漁協と調査や要望等も聞きながら対策を取ってまいります。</p> <p>(2) 沖縄県への報告内容については、漁業者によるウミガメ殺傷について一連の経緯を説明し、再発防止に向けた対応方針案の報告も行っております。県は今回の件について「容認できるものではない」とした上で、漁業と保護の共存を目指す町の取り組みを支援していくとの見解であります。</p> <p>(3) 久米島漁協からは、刺網漁業者と意見交換を行っており、ウミガメの集まる期間や場所への刺網をしないこと、ウミガメが掛かっても外しやすい網を検討すること、また、緊急事態の場合には、漁協と町と連携して対処できるよう連絡体制を整えながら行うことで報告を受けております。町としても共通認識を持って対処したいと考えております。</p> <p>(4) 現段階では、指導助言は受けておりませんが、関係団体との協議後に、課題となる点について、国、県、専門家の指導助言を受ける予定です。</p> <p>(5) 自然災害等にて漁具損害を被った場合に補償を受けることができる漁業施設共済がありますが、漁協へ確認したところ</p>	<p>(1), (2), (3), (5), (6) 産業振興課</p> <p>(4), (7) 商工観光課</p>

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
			<p>に支障をきたした場合、網からウミガメを離したりする緊急的な協力体制が必要だと思うが見解を伺う。</p> <p>(7) コロナの状況が落ち着いた際に、ウミガメを含め生物の生態系や共存について専門家を招聘して講演会を開催してはどうか伺う。</p>		<p>ウミガメなどの被害による損害補償は無いと聞いております。</p> <p>(6) 今回のような大規模な混獲が発生した場合、漁業関係者だけでの対応が困難な場合、漁協と町との連絡体制を構築し、対処できるようにしております。</p> <p>(7) 今後協議の状況や専門家からの指導助言等をふまえて開催を検討してまいります。</p>	

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
		2.新型コロナウイルス感染症対策について	<p>連日約20～30人の陽性の方が確認され、公立久米島病院の外来診療を一部制限するなど逼迫の状況の中で、医療関係者の方々の懸命なご対応に心から感謝申し上げます。ここで、4点お伺いします。</p> <p>(1) 重症患者や療養患者の本島への移送について、どのように行っているか。</p> <p>(2) ひとり暮らしや高齢者の方、家族全員が感染した場合、日常生活の買い物や食事など、どのような対応を行っているか。</p> <p>(3) 4回目のワクチン接種について、見解を伺う。</p> <p>(4) 島内での療養所(ホテル等)の確保について、見解を伺う。その際、医師又は看護師の常駐も必要となる。</p>	町長	<p>(1) 中等症以上と診断された場合は、医師と県対策本部との調整の上で、沖縄本島の医療機関もしくは入院待機ステーションへの搬送になります。搬送方法は、自衛隊ヘリとなっております。</p> <p>(2) 陽性者の自宅療養支援としましては、沖縄県コロナ対策本部自宅療養健康管理センターが配食の支援を行っております。また、日常生活用品の買い物は福祉課が支援しております。</p> <p>(3) 4回目のワクチン接種は、6月24日より透析患者、高齢者施設入所者及び施設職員の順に接種を行っております。また8月25日から28日の4日間、集団接種を実施しております。</p> <p>(4) 新型コロナウイルス感染症は法令に基づき、第2類指定感染症となっており、その対策、措置、対応等については国及び都道府県となりますので、宿泊療養施設については沖縄県が設置することとなっております。</p>	福祉課

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
		3.ひとり親家庭等生活支援事業について	<p>ひとり親家庭の生活の安定とその子どもの健やかな成長や、自立に向けた支援を行うことが必要ですが、3点伺う。</p> <p>(1)久米島町のひとり親世帯は何世帯か。</p> <p>(2)その世帯に、支援してほしい内容等を調査したことはあるか。</p> <p>(3)沖縄県ひとり親家庭生活支援事業のゆいはあと事業があり、その活用を考えていただきたいですが、見解を伺う。</p>	町長	<p>(1)本町のひとり親世帯は、令和4年8月1日現在で118世帯です。</p> <p>(2)支援してほしい内容等の調査をしたことはありません。</p> <p>(3)ひとり親世帯の生活の安定と向上のための措置や実施は、法令に基づき、都道府県知事が行うものとなっております。本町においては、ひとり親世帯等だけではなく、全ての子育て世帯に対しての支援が必要です。現在は、ファミリーサポートなどの預かり支援は整備ができており、今後は、住宅・就労支援などを含む自立支援の部分を県の事業を有効に活用できないか検討してまいります。</p>	福祉課

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
		4. 離島及び広域相談体制整備事業について	<p>沖縄県の子どもの貧困対策に関する取り組みの中で、国や県がこの事業を設けていることに対し、心から感謝申し上げます。以前から、とても待ち望んでいることでありました。ここで、4点伺います。</p> <p>(1) 事業概要と進捗状況について (2) 予算の確保について (3) この事業を実施するためにあたっての課題と対応について (4) スケジュール等、今後の取り組みについて</p>	教育長	<p>(1) 「離島及び広域相談体制整備事業」は、「沖縄県子どもの貧困緊急対策事業」の1つで、今年度から令和6年度までの間、地域の実情を把握し、ニーズに応じた支援方法・支援体制の構築を図り、最終的には久米島町で自走できる体制づくりを目指す事業となっております。</p> <p>進捗状況につきましては、教育委員会において、不登校児童生徒支援が重要課題だと考えており、その支援策について、学校における現状と町内でできる取り組み等を考えた結果、「不登校児童生徒の居場所づくり」に向けて、取り組んでおります。</p> <p>(2) 今年度は、課題整理と課題解決に向けた事業づくりの段階で、予算措置は行っておりません。事業実施に向けては、国の補助メニューを活用した予算措置を考えております。</p> <p>(3) 事業実施にあたっての課題は、人材の確保だと考えており、自走できる体制づくりに向け、人材育成も含め取り組んでまいります。</p> <p>(4) 今後のスケジュールについては、今年度で事業の制度設計を行い、令和5年度から「不登校児童生徒の居場所」の運用を開始し、県の離島及び広域相談体制整備事</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教育課 ・福祉課

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
					<p>業が継続される令和6年度までの間は、県の助言と支援を受けながら事業実施していくことで、運用面での充実を図っていきたいと考えております。</p> <p>続きまして、福祉課の進捗状況についてお答え致します。</p> <p>現在、主に児童福祉の面からの課題を洗い出しており、どのような支援体制が望ましいか検討しているところです。</p>	
11	赤嶺 秀徳	1. 松くい虫について	<p>松くい虫防除の進捗状況について3点伺う。</p> <p>(1) 現在も除去は行われているか。</p> <p>(2) 累計にして約何本の松を処理したか。</p> <p>(3) 本町のどの地域を主に処理したか。</p>	町長	<p>(1) 令和4年度におきましては、伐倒作業や樹幹注入等の防除作業は8月中旬に県森林管理課を中心とした有識者の方々が被害調査を行ったうえで、防除計画策定後に実施してまいります。</p> <p>(2) 令和3年度は、被害松377本の伐倒駆除と681本の松に薬剤の樹幹注入を行いました。</p> <p>(3) 処理地域につきましては、特に被害が目立った島の中心部を重点的に防除作業を実施いたしました。</p>	環境保全課

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
		2.危機管理について	本町における危機管理の体制は十分に整っているか、また、指揮系統は十分に機能しているか伺う。	町長	危機管理体制につきましては、関係団体と連携し情報収集に取り組み、必要があれば町長を本部長とする対策本部を設置することとしております。 危機管理体制の充実を図るため、迅速・適切な情報収集及び発信等に取り組んでまいります。	総務課
		3. 道路整備について	令和3年12月定例会において、字儀間地内のガードパイプの腐食について質問した。当局も危険であると認識しているとの答弁でした。その後の進捗状況について伺う。	町長	令和3年12月定例会後において、現場調査を行い修繕費用について見積書を聴取し県担当部署へ提出しております。令和3年度での対応が厳しいとのことでしたので、今年度予算において実施できるよう要望しております。	建設課
5	宇江原総清	1.鳥島射爆撃場と政治について	ウクライナ戦争は冬までに終わらせねばとの言動が出ている。一方、我々、沖縄は台湾有事に際しペロシ米下院議長の台湾訪問によって、戦争がより現実的になった。アメリカのバイデンが「一つの中国」と言いながら、台湾に現実的変化があれば、「軍事介入」と言っている。アメリカ得意のダブルスタンダードだ。私は大方、武器供与のみと見る。町長に伺う。 (1) 台湾有事や更なる劣化ウラン弾の使用は「国の専権事項であり、答弁は控える」としているが危機管理能力はないのか。 (2) 自衛隊幹部が「対中戦争の攻撃拠点、戦場は沖縄だ。住民を守るのは自治体だ」と言っている。その対応は。	町長	国防は国の専権事項であり、万が一にも有事が発生しないよう国において不断の外交努力を行うべきと考えております。有事の際は久米島町国民保護計画に基づき、情報収集や避難対策などについて取り組んでまいります。	総務課

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
		2.自然再生とアオウミガメ問題について	<p>私が6月2日、県南部農林土木事務所等と面談し、「河川の三面コンクリート等は造らせない」との約束を取り付けた。県内土木業者によると本島では三面コンクリートはもとより、裏込めコンクリ河川は造っていないとのことです。当たり前のことだ。久米島町では疑念を抱くことをやってのける。この三面コンクリート護岸やアオウミガメ等の問題はすべて自然環境に帰着するものだ。例えば、食物連鎖や自然の循環によって成り立っている。町長に伺う。</p> <p>(1)アオウミガメのモズク荒らしはいつから知ったか。 (2)「島の豊かな藻場」と言っているが豊かか。 (3)ウミガメ館の管理状況は。</p>	町長	<p>(1)久米島漁協からの聞き取り調査では、ウミガメによる食害は多少ありますが、基本的には魚類と確認しており、ウミガメによるモズク荒らしとは認識しておりません。</p> <p>(2)久米島漁協やサング協議会への聞き取りで島の至る所に藻場があることを確認しています。アオウミガメが増加したことにより、藻場が減少していることは一つの要因と思われます。今後は、漁協と連携し調査したいと考えております。</p> <p>(3)ウミガメ館は現在、会計年度任用職員を4名配置し、直営で管理しております。</p>	(1), (2)産業振興課 (3)商工観光課

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
		3.バーデハウスの対応について	<p>バーデハウスは町民の健康管理と観光目的と聞いている。第三セクターの(株)オーランドを設立、現在は閉館している。次のことを伺う。</p> <p>(1)「久米島リゾートプロジェクト実現に向けて(2019年度進め方の追加ご提案 2019年4月)」、県外企業から文書が提出されている。他のオファーからの文書提出は。</p> <p>(2)令和元年(2019年)5月31日株主総会において、町は「バーデハウス運営説明」をした。提案企業からの提案条件として</p> <ul style="list-style-type: none"> ・株主への出資金のうち町出資分を除いた負担とする。 ・(株)オーランドの残存債務9,000万円を負担する。他3項目。 <p>この提案をされた、いきさつと他のオファーからの提案はなかったか伺う。</p>	町長	<p>(1)ご提示いただいた事業以外にも1件、事業提案がありましたが、実施主体の在り方などで議論が進展しませんでした。</p> <p>(2)町としてバーデハウスの経営状況の改善に向けた検討をしている中、平成30年4月頃、ご質問にあります企業からの提案等の申し出があり、バーデハウスの現状や課題について対話を行ってきております。提案書は、その対話から提案企業が条件等を取りまとめたものとなっております。他からの提案につきましては先の答弁のとおりです。</p>	商工観光課

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
8	棚原 哲也	1.海洋深層水について	<p>水量の絶対量が不足して、これ以上の海洋資源の開発や関連産業の創出を図ることが困難な状況として、大規模取水管導入計画を立てている。</p> <p>(1)深層水利用の現状について、島内外の業種別状況は。</p> <p>(2)企業用地の活用状況及び今後の用地の確保計画等について。</p> <p>(3)企業誘致の取組状況について伺う。</p>	町長	<p>(1)深層水利用の現状につきましては、島内で水産養殖業が7社、食料品製造業4社、化粧品製造業が1社の計12社、島外は食料品製造業が3社となっております。</p> <p>(2)現在の企業用地の活用状況につきましては、海ブドウ養殖場や化粧品工場等に町有地の払下げや賃貸を行っております。新たな企業用地につきましては、沖縄県車海老漁業協同組合 海洋深層水種苗供給センター南側の水産養殖施設予定地の埋立整備を行い、企業誘致先として確保する計画となっております。</p> <p>(3)内閣府及び事業協創支援コンサルティングと連携を図り、深層水事業への直接的な支援や既存企業との事業協創に向けた取り組みについて意見交換を行っております。</p>	プロジェクト推進課
		2.県道イーフ線及び県道132号線(ビーチ通り)の現況について	<p>町の景観条例の重点地区内にある県道の早期整備及び町道の適正管理について伺う。</p>	町長	<p>景観形成重点地区に指定されておりますイーリゾート地区ですが、県道整備事業が一時中断しており早期着手するよう要望しておりますが、進捗していないのが現状です。また、町道においても植栽の管理や路上駐車についても適正利用が図られるよう努めてまいります。</p>	建設課

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
9	喜久里 猛	1. 松くい虫について (三役、全島を視察したことを前提)	先の議会でも取り上げたが、減る気配がなく今後どうするか。担当課は県と調整しているか。町長は国と調整しているか。被害松が5,000本として、2億の金が必要である。このことについて、町単独では無理だと思うので県と国の助成を得る必要がある。	町長	被害が拡大している松くい虫による松枯れの件につきまして、今年度も県森林管理課による現地調査が行われ、それを踏まえて対策会議にて防除計画を策定し、効率的かつ効果的に事業が実施できるよう国、県と調整を行ってまいります。事業費につきましても本町の現状を県へ伝え、最終的な目標であります「根絶」へ向けて継続的な支援を要請してまいります。	環境保全課
		2. 町内の森林のカヅラについて	ヤブガラシやアサガオ、その他のカヅラが町内の木・木々をおおっている。いずれ木が枯れるが、その対策をどうするか。森林作業員を1人置く必要はないか。	町長	以前から問題となっているヤブガラシや、昨年、本町でも確認されましたツルヒヨドリが自生している箇所が島内にもありますが、アサガオも含め、つる性の植物であり生育も旺盛で、防除対策がかなり困難な雑草であります。今後、県や専門機関にも意見を伺い、作業員の配置も含め防除対策を検討してまいります。	環境保全課